

放送大学千葉学習センター

利用の手引き



2025 年度

那珂太郎 作詩
柴田南雄 作曲

1. あ また の ほしほしの なかの この ちきうに あって
2. は るか な えいごうの なかの この じだいに あって

わ れら は まし なう せ かい を じし ぶ ぜ ん を
わ れら ど こ か ら き て ど こ に い る の か
わ れら ど こ か ら き て ど こ に い る の か

い き る と は まなぶ と まなぶ は た の し み
い き る と は まし る と ー し る と は た ろ し び

ち は ひ かり み どり の い む ら い を ひ ら く た め
ち は ひ かり み どり の い む ら い を ひ ら く た め

いつでもどこでも みえないともと とか もに い きい ともに まなぶ
あしたにゆうべに みえたいともと とか もに い きい ともに まなぶ

1.2. ひ ら か れ た だいが く ほう そう だ い が く

(一)

あまたの星々のなかの この地球にあつて
われらはまなぶ 世界を 自分を
われら どこから来て どこにゐるのか
生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ
知は光 みどりの未来を 展くため
いつでも どこでも
見えない友と 共に生き 共にまなぶ
開かれた大学 放送大学

(二)

はるかな永劫のなかの この時代にあつて
われらは知らう 社会を 自然を
われら どこから来て どこへ行くのか
生きるとは知ること 知ることとはよろこび
知は力 よりよい生を拓くため
朝に 夕に
親しい友と 語り合ひ 共にまなぶ
開かれた大学 放送大学



放送大学学歌

●学生のみなさまへ	1
●2025年度授業等日程	2
●2025年度学年暦	3
●学習センターについて	9
・主な業務	
・センターを利用できる方	
・利用上の注意事項	
・開所日と利用時間	
・学習センターウェブサイト	
・「ちばがくプレス」	
・学生証	
●施設案内図	11
●施設の利用について	12
●附属図書館の利用について	14
●行事・課外活動等について	15
・課外活動	
●学習上の諸注意	17
・科目登録	
・通信指導	
・単位認定試験	
・面接授業	
・卒業研究	
・体育実技	
・質問票	
●諸手続き・諸証明書発行	21
・氏名の変更	
・住所等の変更	
・職業等の変更	
・その他手続き	
・各種証明書の発行	
・学割証の発行	
・学生教育研究災害傷害保険	
●学内システムの利用について	23
・システム WAKABA	
・キャンパスメール	
・学生用無線 LAN(Wi-Fi)の利用申請について	
●学生相談について	25
・ハラスメントについて	
・学生相談	
●千葉学習センター教員	26
●大学本部及び他の学習センター	27

2024年4月に放送大学千葉学習センターの所長に就任いたしました高橋浩之です。よろしくお願いいたします。

私は2023年3月まで千葉大学教育学部で勤務しており、健康教育学を専門とし、主として養護教諭や保健体育教員の養成にかかわってきました。放送大学においては、2018年から、当時、所長であった宮野モモ子先生のお誘いにより面接授業「リテラシーとしての公衆衛生学」を担当させていただいており、2023年からは前所長の片岡洋子先生からのお誘いでミニゼミ「保健の授業を学び直す」を開かせていただいています。とは言うものの放送大学は修学の形態や学生の多様性などの面で千葉大学やその他の大学と大きく異なるところがあり、当面、学生の皆さんと一緒に学びながらの勤務になると考えています。

学ぶということに関してですが、学生の皆さんは何のために学んでいるのでしょうか。学士などの学位を取るため、教員免許状を取るため、認定心理士など、その他の資格を取るためという方も多くいらっしゃるでしょう。また、仕事や生活の上で役立つ知識や技術を獲得するためという方もいらっしゃるでしょう。もちろん、それらは人間の築いてきた文化を継承するという意味で学ぶことの本質にかかわることでしょう。しかし、私自身が学ぶことに関して一番感じるのは楽しみということです。今でも思い出すのですが、私は理科系の学生だったにもかかわらず大学で最もと言って良いほど楽しみだった授業は放送大学の教授もされた笠原一男先生の日本史でした。笠原先生が学生の拍手を浴びながら壇上に上がり、浄土真宗に関して語り始める一瞬が昨日のように思い出されます。また「大変な修行や大きな功德など必要なく、ただひたすらに南無阿弥陀仏と唱えれば極楽に行けるという教えに宗教の本質があるのではないか」という先生の言葉に衝撃を受けたことも記憶に残っています。

当たり前のことかもしれませんが、私は楽しいことが大好きな人間です。一昨年度は、念願のH2Aロケットの打ち上げを種子島まで見に行ったり、これも興味があった旭山動物園に行ったりと旅行を楽しみました。日常ではテニスクラブに通い、囲碁・将棋、テレビゲームも大好きです。しかし、多くの楽しみの中でも最近大きな割合を占めているのが実は放送大学の授業なのです。今までまったく関心がなかった政治学に、これは前から関心があったローマ帝国の話が入り口になって興味を持ちはじめ、いくつかの授業を聞かせていただいています。自宅にしながら、その世界で一流の高い見識を持った先生がわかりやすく話をして下さるというのですから、こんなに素晴らしいことはありません。

おそらく人間という生き物は進化の過程で、生きるために役立つ知識や技術を得る喜びを感じるようになったのではないのでしょうか。現代では多くの人が、役に立つということとは別に、学ぶこと自体に楽しさを感じるようになりました。しかし、それは、ある程度の豊かさと平和がなければ実現しないことを忘れてはいけません。是非、学生の皆さんにはその許された幸せを感じつつ、学問の世界に没頭して欲しいと思います。私自身は、笠原先生のように皆さんに知的な楽しさを与えられるよう授業、あるいは、学習環境づくりという面で努力を続けたいと考えています。

2025年4月

千葉学習センター

所 長 高 橋 浩 之

第1学期

4 April

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5 May

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6 June

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7 July

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8 August

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9 September

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

第2学期

10 October

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11 November

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12 December

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1 January

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2 February

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3 March

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

赤字 センター閉所日

面接授業期間（第1学期：4/12～7/27 第2学期：10/18～1/25）

単位認定試験期間（第1学期：7/16～7/24 第2学期：1/18～1/26）

第1学期

4 月		
1	火	第1学期放送授業開始(～7/14)
2	水	
3	木	
4	金	第1学期オンライン授業開始(～8/29)
5	土	第1学期入学者の集い、 大学院オリエンテーション
6	日	大学院オリエンテーション
7	月	閉所日
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	面接授業空席発表
12	土	第1学期面接授業開始(～7/27)
13	日	
14	月	閉所日
15	火	
16	水	
17	木	面接授業追加登録受付開始(～7/14)
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	閉所日
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	閉所日
29	火	休日(昭和の日)
30	水	

5 月		
1	木	第1学期ライブWeb授業開始(～7/10)
2	金	
3	土	休日(憲法記念日)
4	日	休日(みどりの日)
5	月	休日(こどもの日)
6	火	振替休日
7	水	
8	木	通信指導 Web 提出受付開始(～5/28)
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	閉所日
13	火	
14	水	通信指導郵送提出受付開始(～5/28)
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	閉所日
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	閉所日
27	火	
28	水	通信指導提出受付終了
29	木	
30	金	
31	土	

6 月		
1	日	
2	月	閉所日
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	閉所日
10	火	2025年度第2学期第1回学生募集受付開始(～8/29)
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	閉所日
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	閉所日
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	閉所日

6月上旬 卒業研究履修の手引配布開始
6月中旬 既修得単位認定通知発送
(入学時申請者)

7 月		
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	閉所日
8	火	
9	水	
10	木	第1学期ライブWeb授業終了
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	閉所日 第1学期放送授業終了
15	火	
16	水	単位認定試験 (Web)
17	木	単位認定試験 (Web)
18	金	単位認定試験 (Web)
19	土	単位認定試験 (Web)
20	日	単位認定試験 (Web) (記述・併用式～17:00)
21	月	休日(海の日) 単位認定試験 (Web)
22	火	臨時閉所日 単位認定試験 (Web)
23	水	単位認定試験 (Web)
24	木	単位認定試験 (Web) (択一式～17:00)
25	金	
26	土	
27	日	第1学期面接授業終了
28	月	閉所日
29	火	
30	水	
31	木	

7月上旬～中旬 継続入学用関連書類発送
7月中旬 科目登録申請要項等発送

第1学期

8 月	
1 金	
2 土	
3 日	
4 月 閉所日	
5 火	
6 水	
7 木	
8 金	
9 土	
10 日	臨時閉所日
11 月 休日(山の日)	
12 火 振替休日	
13 水 臨時閉所日	
14 木 臨時閉所日	
15 金	臨時閉所日 2025年度第2学期科目登録申請受付開始(～郵送8/28、Web8/29)
16 土 臨時閉所日	
17 日	
18 月 閉所日	
19 火	
20 水	
21 木	
22 金	
23 土	
24 日	
25 月 閉所日	
26 火	
27 水	
28 木	2025年度第2学期科目登録申請郵送受付終了
29 金	2025年度第2学期第1回学生募集受付終了 2025年度第2学期科目登録申請Web 受付終了 第1学期オンライン授業終了
30 土	2025年度第2学期第2回学生募集受付開始(～9/11)
31 日	

9 月	
1 月 閉所日	
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	
7 日	
8 月 閉所日	
9 火	
10 水	
11 木	2025年度第2学期第2回学生募集受付終了
12 金	
13 土	
14 日	
15 月 休日(敬老の日)	
16 火 振替休日	
17 水	
18 木	
19 金	
20 土	学位記授与式
21 日	
22 月 閉所日	
23 火 休日(秋分の日)	
24 水	
25 木	
26 金	
27 土	
28 日	
29 月 閉所日	
30 火	

8月中旬～下旬 成績通知発送

第2学期

10 月		
1	水	第2学期放送授業開始(～1/13)
2	木	
3	金	第2学期オンライン授業開始(～3/2)
4	土	
5	日	
6	月	閉所日
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	休日(スポーツの日)
14	火	振替休日
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	第2学期面接授業開始(～1/25)
19	日	
20	月	閉所日
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	閉所日
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

11 月		
1	土	第2学期ライブ Web 授業開始(～1/10)
2	日	
3	月	休日(文化の日)
4	火	振替休日
5	水	
6	木	通信指導 Web 提出受付開始(～11/26)
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	閉所日
11	火	
12	水	通信指導郵送提出受付開始(～11/26)
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	閉所日
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	振替休日
25	火	
26	水	通信指導提出受付終了
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	

11月下旬 2025年度第1学期第1回学生
募集受付開始(～2/28)

11月下旬～12月上旬 司書教諭講習成績
通知発送

第2学期

12 月	
1	月 閉所日
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月 閉所日
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月 閉所日
16	火
17	水
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月 閉所日
23	火
24	水
25	木
26	金
27	土
28	日
29	月 閉所日
30	火 年末休日
31	水 年末休日

12月中旬 既修得単位認定通知発送
(入学時申請者)

2026 年 1 月	
1	木 休日(元日)
2	金 年始休日
3	土 年始休日
4	日 臨時閉所日
5	月 閉所日
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土 第2学期ライブ Web 授業終了
11	日
12	月 休日(成人の日)
13	火 振替休日 第2学期放送授業終了
14	水
15	木
16	金
17	土
18	日 単位認定試験(Web)
19	月 閉所日 単位認定試験(Web)
20	火 単位認定試験(Web)
21	水 単位認定試験(Web)
22	木 単位認定試験(Web) (記述・併用式～17:00)
23	金 単位認定試験(Web)
24	土 単位認定試験(Web)
25	日 第2学期面接授業終了 単位認定試験(Web)
26	月 閉所日 単位認定試験(Web) (択一式～17:00)
27	火
28	水
29	木
30	金
31	土

1月中旬 継続入学用関連書類発送

1月中旬 科目登録申請要項等発送

2 月		
1	日	
2	月	閉所日
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	閉所日
10	火	
11	水	休日(建国記念の日)
12	木	
13	金	2026年度第1学期科目登録申請受付開始(～郵送2/27、Web2/28)
14	土	
15	日	
16	月	閉所日
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	休日(天皇誕生日)
24	火	振替休日
25	水	
26	木	
27	金	2026年度第1学期科目登録申請郵送受付終了
28	土	2026年度第1学期科目登録申請Web 受付終了

2月中旬～下旬 成績通知発送

3 月		
1	日	2026年度第1学期第2回学生募集受付開始(～3月中旬)
2	月	閉所日 第2学期オンライン授業終了
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	閉所日
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	閉所日
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	休日(春分の日)
21	土	
22	日	
23	月	閉所日
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	閉所日
31	火	

3月中旬 司書教諭講習修了証書発送

3月中旬 2025年度第1学期第2回学生募集受付終了

3月下旬 学位記授与式(本部主催)

学習センターについて

主な業務

- 面接授業、単位認定試験の実施
- 学生の学習上の各種相談
- 各種証明書の発行
- 学生教育研究災害傷害保険の取扱い
- 奨学生の募集
- グループ研究・課外活動等のための施設貸出業務
- ウェブサイト・広報紙による学習センター事業の広報 など

センターを利用できる方

- 本学の学生
- その他所長の許可を得た者

利用上の注意事項

- 学習センター・附属図書館を利用する際は、学生証を必ず携帯してください。
- 学習センター内では、他の方へ迷惑にならないよう静粛に願います。
- 学習センター及び放送大学本部敷地内での火気の使用及び危険物等の持ち込みは禁止します。
- 学習センター及び放送大学本部敷地内において、許可なく、宣伝・勧誘及び営利を目的とする販売等の活動を行うことは禁止します。
- 学習センター敷地内の電源を、携帯電話・パソコン等の機器充電のために個人的に利用することは禁止します。

開所日と利用時間

	センター開所時間	事務室・電話対応時間
開所日 (火～日)	9:30～17:30	9:30～12:00 13:00～17:30
閉所日	月曜日 国民の祝日 年末年始(12月29日～翌1月3日) 学長または千葉学習センター所長が特に必要と認めた日	
備考	①開所日・開所時間は都合により変更する場合があります。 ②開所日・利用時間は学習センターごとに異なりますので、千葉学習センター以外をご利用の際はご注意ください。 ③12:00～13:00は事務室窓口を閉鎖いたします。	

学習センターウェブサイト

千葉学習センターウェブサイトでは、授業・試験日程、学生生活、各種手続き、講演会等の学習センター行事のお知らせやセンター所属の学生団体の紹介など、学習センターの各種情報を発信しています。

【千葉学習センターウェブサイト】

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/chiba/>



「ちばがくプレス」

千葉学習センターでは、原則として年2回、「ちばがくプレス」を発行し、センターからのお知らせをはじめ、様々な情報を発信しています。学習センターウェブサイトよりバックナンバーもご覧いただけます。

学 生 証

学生証は、放送大学の学生であることを証明する身分証明書です。**常に携帯し**、教職員からの請求があった場合には、提示をお願いいたします。なお、学生証を他人へ貸与または譲渡することは禁じられています。また、スマホケースなどの磁気にご注意下さい。

(『学生生活の栞』学部：P23～／大学院：P34～)

●学生証が必要となる場合

- ①学習センター・附属図書館・セミナーハウスを利用する場合
 - ②単位認定試験を受験、面接授業を受講する場合
 - ③面接授業科目の追加登録をする場合
 - ④各種証明書の交付を申請する場合
 - ⑤大学の行事等に参加する場合
 - ⑥単位認定試験の過去問題・解答の所内貸出を受ける場合
 - ⑦学割証により乗車券を購入する場合及びそれを利用して乗車する場合など
- ※正門及び北門を通過する際、守衛所に学生証の提示を求められる場合があります。



●学生証発行手続き

学生証を発行するためには「写真票」を大学本部に提出し、システムWAKABAに写真データが登録されることが必要です。システムWAKABAログインIDをお持ちの方であれば、システムWAKABAの「学生カルテ」から直接顔写真を登録することが可能です。**入学生の学生証は、入学する学期の開始日（1学期は4月1日、2学期は10月1日）後の開所日より交付します。**入学料及び授業料の入金確認の約3週間後に送付される「入学許可書」をお持ちのうえ、学習センター窓口へお越しください。「入学許可書」をもとに、本人とシステムWAKABAに登録されたデータを確認のうえ、学生証を交付します。在学生の有効期限切れに伴う更新の場合は、有効期限後の開所日より新しい学生証と交換しますので、古い学生証を学習センター窓口へお持ちください。

●有効期限

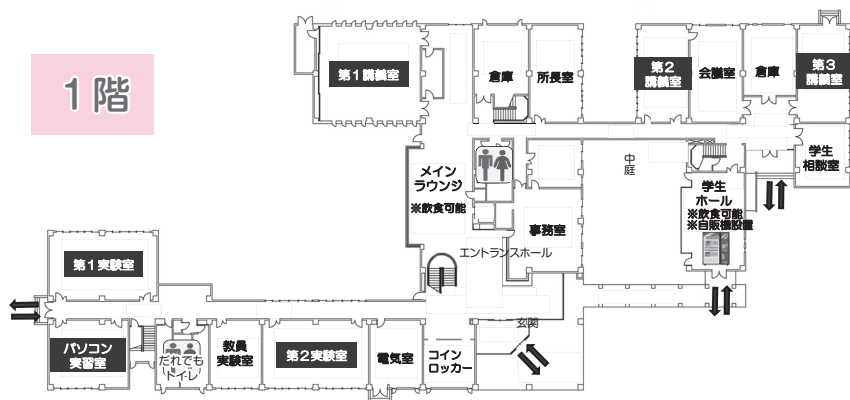
学生証の有効期限は、全科履修生の場合は2年間、選科履修生の場合は1年間、科目履修生の場合は1学期間（半年間）です。有効期限を経過したり、退学等により学籍を失った場合は、学習センター窓口へ返却してください。なお、学籍が継続する場合（休学中も含む）には、期限切れの学生証をお持ちのうえ、学習センター窓口で発行手続きを行ってください。交付は有効期限後の開所日からとなります。

●再発行

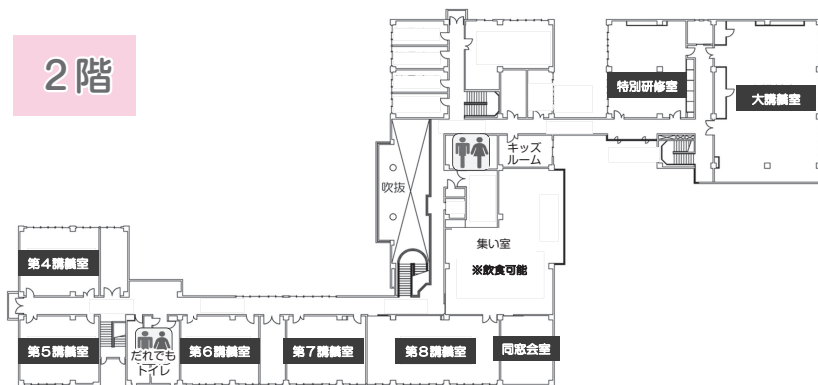
紛失や盗難等により学生証を失った場合、汚損等により使用不能となった場合及び氏名の変更があった場合には、速やかに「学生証再発行願」へ必要事項を記入のうえ、学習センター窓口にて再発行手続きを行ってください。

※再発行には手数料500円が必要となります。

1階



2階



施設の使用

サークル活動等のため、学習センター講義室等の使用を希望する場合には、事前に「施設使用願」を学習センター窓口へ提出のうえ、使用許可を受けてください。「施設使用願」は、原則として使用する日が属する月の前月1日(1日が閉所の場合は翌日)から受け付けます。

なお、利用時間は、曜日を問わず原則午前10時から午後5時までとします。また、開所日であっても、単位認定試験期間(準備・後片付け期間を含む)、その他のセンター事業が行われている場合、使用できないことがあります。

掲示板の利用

1階事務室協エントランスホール、学生ホール、2階集い室に学生用の掲示板を設置しています。

文書・ポスターの掲示を希望する場合は、事前に「文書等掲示願」を学習センター窓口へ提出のうえ、掲示許可を受けてください。

掲示期間は3週間以内、大きさは原則としてB4版以内とします。

学生ホール

会話・休憩等ができるスペースです。飲み物・軽食等の自動販売機のほか、電子レンジを設置しています。

集い室

自習・打合せ・食事等の多目的スペースです。利用申込みの必要はありませんが、多くの方に気持ち良く利用していただくため、大声での会話や必要以上のスペース確保など、他の利用者の迷惑となる行為はご遠慮願います。

教務用掲示板

1階事務室協エントランスホール・学生ホールに教務用の掲示板を設置しています。面接授業、単位認定試験、学習相談、その他教務に関する連絡事項が掲示されていますので、学習センターへ来所した際は、必ず確認するようにしてください。

コインロッカー

正面玄関脇にコインロッカーを設置しています。利用時に100円硬貨が必要となりますが、硬貨は利用後に返却されます。利用する際、貴重品はロッカーに入れずに必ずご自身でお持ちください。

なお、利用は当日限りですので、お帰りの際には必ず荷物をお持ち帰りください。また、ロッカーの鍵を紛失した場合は、実費を徴収しますのでご注意ください。

駐車場・駐輪場

学習センター及び放送大学本部敷地内には、限られた駐車スペースしかありません。来所の際は原則、公共交通機関をご利用ください。身体等に障がいをお持ちの方が、車でのご通学を希望される場合は、事前に学習センター窓口へご相談ください。自転車でご来所の場合は、指定された駐輪スペースをご利用ください。

なお、構内での事故等について、学習センターでは一切の責任を負いません。

電 話

学生のみなさんに対する外部からの呼び出し電話は、緊急かつやむを得ない場合を除き、原則として取り次ぐことはいたしません。

なお、携帯電話を使用する場合は、周囲に迷惑がかからないようご注意ください。特に講義室等の他の方に迷惑となる場所での通話はご遠慮願います。

また、学習センター、放送大学本部敷地内には公衆電話がありませんので、携帯電話をお持ちでない方は、近隣ショッピングセンター等をご利用ください。

飲 食

飲食をする場合は、1階学生ホール、メインラウンジ、2階集い室、中庭をご利用ください。それ以外の場所での飲食はご遠慮願います。ゴミは所定の場所に廃棄して下さい。

なお、土日の面接授業の際は、センター内の飲み物自動販売機が売り切れとなることが多いため、通学途中でお買い求めいただくことをお勧めします。

忘 れ 物

拾得物は学習センター事務室で保管しています。お心当たりの方は、学生証など本人確認できるものをご用意のうえ、学習センター窓口までお越しください。忘れ物・落し物を拾われた方は、学習センター窓口、または放送大学本部構内の守衛所までお持ちください。

喫 煙

学習センター建物内は禁煙です。定められた喫煙場所をご利用ください。

『学生生活の葉』 P110～／P110～)

2007 年 4 月に、千葉学習センター図書室及び視聴学習室は、センターに隣接する放送大学附属図書館に統合されました。図書の貸出を希望する方は、学生証をご用意のうえ、附属図書館をご利用ください。

利用案内

開館時間

- ・月曜日～金曜日 9:00 ～ 18:30
- ・土曜日、日曜日、祝日、休日 9:00 ～ 20:00

※当面の間 9:00 ～ 18:30 としております。(全開館日)

休館日

- ・年末年始
- ・毎月 第 4 月曜日

(1 月、7 月を除く。また、当該日が祝日または休日の場合は翌日)

※開館時間、休館日に変更がある場合は、その都度ウェブサイトや掲示板でお知らせします。

※試験期間中は学外者の入館が制限されます。

●入館方法

筆記用具等の持ち込みは自由ですが、かばんその他の手荷物は入館前に館内のコインロッカー（利用料 100 円は利用後に返却されます）へ預けてください。入館口は自動ゲートになっていますので、学生証を読み取らせて入館してください。

●貸出冊数・期間

【図書資料】	貸出冊数	貸出期間
本学の大学院博士後期課程学生	図書 30 冊以内	1 ヶ月
本学の大学院修士課程学生	図書 20 冊以内	1 ヶ月
卒業研究履修生	図書 10 冊以内	1 ヶ月
本学の学部学生	図書 10 冊以内	1 ヶ月

※参考図書、雑誌、映像音響資料、貴重図書は貸出できません。

※貸出期限内であって次の予約が入っていない場合は、1 回に限り 2 週間の延長ができます。

※貸出中の資料には、次回の貸出予約をすることができます。

●貸出のほかに受けられる主なサービス

- ・レファレンスサービス（文献の探し方・所蔵調査等の質問受付）
- ・各学習センター所蔵図書の取り寄せ
- ・他大学図書館等の資料の文献複写、図書の借用（実費負担）及び、他大学図書館等利用のための紹介状発行
- ・図書の自宅配送サービス（全科生対象・実費負担）
- ・学生図書リクエストの申込み（全科生・選科生対象）
- ・電子ジャーナル、学術情報データベースの利用
- ・館内施設、設置機器等の利用（AVブース、グループ視聴室、演習室 など）

※詳細は「図書館利用案内」または附属図書館ウェブサイト
(<https://lib.ouj.ac.jp/>) をご覧ください。



講演会

学習センターでは、幅広い分野の講師をお迎えして、学生のみなさんや地域の方々を対象に無料の公開講演会を開催しています。講演内容やスケジュールについては、学習センターウェブサイト、システム Wakaba、館内掲示ポスター、学習センター公式 SNS、センター広報紙等でお知らせします。

入学者の集い・学位記授与式

学習センターでは、毎年4月初旬に4月入学者を対象にした第1学期入学者の集いを、9月下旬には9月卒業生・修了生を対象にした学位記授与式を、さらに10月初旬には10月入学者を対象にした第2学期入学者の集いを、いずれも学習センター2階大講義室で行います。

なお、第2学期の学位記授与式は、全国行事として毎年3月下旬に開催されます。

所長表彰

第1学期と第2学期の卒業・修了時期にあわせて、優秀な学業成績を修めた方や、社会貢献等の優れた活動を行った個人・団体などを対象に学習センター所長表彰を行っています。

幕張祭

毎年9月頃、学習センターに所属する学生のみなさんの自主的参加のもと、様々な企画を通じて学生相互の親睦を図るとともに、センターでの学習や課外活動の成果を発表して、地域の方々と交流することを目的とする「千葉学習センター“幕張祭”」を開催しています。企画・運営を学生主体の実行委員会が中心となって行います。日程、出展募集のお知らせ等は学習センターウェブサイト、掲示ポスター、SNS等でお知らせします。

ミニゼミ

学習センターでは、学生のみなさんを対象にセンター所長や客員教員によるミニゼミを無料開講しています。文学、音楽、生物、地学など各教員の専門分野に関係したテーマについて、基本的には少人数で先生を囲んでのゼミナール形式で行われていますが、各自が設定したテーマの研究、報告会での発表など形態は様々です。学校での授業は、とすれば一方向的な話の流れになりがちですが、ミニゼミは双方向性、相互啓発性の高い学習形態です。いずれのゼミも人数制限がありますが、興味のある方は是非ご参加ください。ミニゼミ募集については、概要が決まり次第所内掲示ポスター、センター広報紙、センターウェブサイト等でお知らせします。

研修旅行

毎年秋頃に、知識・教養を深めるとともに学生同士ならびに学生と教職員との交流を図ることを目的として、日帰りの研修旅行を行っています。研修旅行の案内は学習センター WEB サイト、掲示ポスター、SNS等でお知らせします。

令和6年度は千葉県立中央博物館、国天然記念物チバニアン等を見学しました。

●課外活動（『学生生活の栞』学部：P118～）

サークル活動

学生のみなさんが、互いに研究やスポーツ等による交流を図るため、サークルや学生団体を結成することができます。新たに団体を設立する場合は、全科履修生または選科履修生の中から責任者を定めるなど、設立に必要な条件を満たしたうえで、毎年4月または10月の受付期間中に「学生団体設立願」を提出し、設立許可を受ける必要があります。

各団体の活動内容・加入方法等については、学習センターウェブサイトまたは所内に掲示された各団体紹介ポスターをご覧ください。

同窓会

●千葉同窓会入会資格

千葉学習センターに所属していた卒業生・修了生であればどなたでも入会できます。また、在学生の方も入会できます。卒業・修了式の際に千葉同窓会より入会申込書をお渡しいたします。随時受付もしております。

●千葉同窓会会報の発行

千葉同窓会では、年2回（7、12月）同窓会報を発行し、会員の皆様へ発送しております。同時に放送大学からイベント案内も同封されます。

●年間活動等

千葉同窓会では、会員および在学生の親睦を目的とした見学会・研修旅行などを年2回（6、10月）開催しています。行事案内と申し込みについては、同窓会報及び学内掲示板でお知らせいたします。

●科目登録 (『学生生活の栞』学部：P61～／大学院：P65～)

次学期に履修したい科目を、前学期中にシステム WAKABA または郵送のいずれかによって申請し、科目登録することが必要となります。

- ① 科目登録は申請期間内にシステム WAKABA で手続きしてください。郵送による方法でも可能ですが、システム WAKABA との重複申請はできませんのでご注意ください。
- ② 面接授業で定員を超える申請があった場合は、抽選により決定されます。
- ③ 登録となった科目については「科目登録決定通知書」により通知されます。通知書に記載されている授業料を所定の期日までに払込取扱票により納入してください。
- ④ 印刷教材等は、授業料の振り込みが確認された後に発送されます。

●通信指導 (『学生生活の栞』学部：P68～／大学院：P73～)

放送授業科目および一部のオンライン授業科目について、各学期の途中に 1 回、前半の一定の範囲で出題される通信指導が行われます。

- ① 通信指導は、原則、システム WAKABA から Web で提出（郵送提出科目を除く）となります。
- ② 定められた期間内に提出しなかった場合は、その科目の当該学期における単位認定試験の受験資格は得られません。
- ③ 通信指導の可否結果は、添削結果と同時期に送付される「単位認定試験通知（受験票）」によって通知されます。

●単位認定試験 (『学生生活の栞』学部：P72～／大学院：P77～)

放送授業を科目登録し、通信指導に合格して受験資格を得た方は、各学期末に行われる当該科目の単位認定試験を受験することができます。

- ① 単位認定試験は、原則、Web 受験方式により実施しており、自宅等からインターネットを通じて Web 単位認定試験システムにアクセスして、受験します。
- ② 定められた期間中であればいつでも受験が可能です。1 科目 50 分の制限時間があり、各科目 1 回のみ受験が可能です。
- ③ 出題形式は、「択一式」「記述式」「併用式」があり、各科目の出題形式は「授業科目案内」に記載しています。

●面接授業

(『学生生活の栞』学部：P40～)

面接授業は、学習センター等で他の学生と一緒に直接講師から指導を受ける授業です。全国 50 か所の学習センター及び 7 か所のサテライトスペースで、年間 3,000 クラスの面接授業が開講されています。

開講時期

面接授業は全国の学習センター等で開講されます。千葉学習センターでの開講科目だけでなく、他の学習センター等で開講される科目を受講することも可能です。

開 講 学 期	開 講 期 間
2025 年度第 1 学期	2025 年 4 月 12 日 (土) ～ 7 月 27 日 (日)
2025 年度第 2 学期	2025 年 10 月 18 日 (土) ～ 2026 年 1 月 25 日 (日)

授業実施時間

授業の実施時間は学習センター等によって異なりますので、事前に開講日・時間帯を必ずご確認ください。1 科目は 1 時間 30 分の授業 7 回と 45 分の授業 1 回で構成されています。

千葉学習センター面接授業実施時間			
1 時限	9 : 50 ～ 11 : 20	3 時限	14 : 05 ～ 15 : 35
2 時限	11 : 35 ～ 13 : 05	4 時限	15 : 50 ～ 17 : 20

受講にあたって

- 面接授業を受講するには、科目登録が必要となります。科目登録方法については、『学生生活の栞』『面接授業時間割表』をご覧ください。
- 科目登録で決定された科目については、取り消し、クラス及び学習センター等の変更は認められませんのでご注意ください。なお、科目登録申請を行っても、定員の都合上受講できない場合がありますので、申請結果は必ず「科目登録決定通知書」で確認してください。
- 面接授業の追加登録は、科目を開講している各学習センターで行います。各学習センターの追加登録実施方法については、学期開始後に各学習センターのウェブサイトでお知らせします。
- 面接授業の開講日及び担当講師は、都合により変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 千葉学習センター開設の面接授業の休講・変更については、1 階事務室協エントランスホールの教務用掲示板及びシステム WAKABA 及び学習センターウェブサイトでお知らせします。
- 面接授業で提出したレポートを事務室から返却する場合は、1 階事務室協エントランスホールの教務用掲示板でお知らせしますので、学生証を用意のうえ学習センター窓口までお越しください。保管期限は、翌学期末までです。
- 昼食の際は、センター内の飲食可能スペースをご利用ください。なお、センター内には、飲み物・菓子類の自動販売機しかありませんので、食事をお持ちでない場合は、近隣のコンビニエンスストア・スーパーマーケットでお買い求めいただくか、近隣の飲食店をご利用ください。また学内・センター内に食堂はありません。

共 修 生

本学の学生でない一般の方や、すでに修得した面接授業科目を再度受講したい方など、正規に面接授業科目を登録した学生以外の方でも、単位の修得はできませんが、「共修生」として聴講することが可能です。ただし、受講可能科目は、追加登録受付終了後に空き定員がある科目に限られます。入学料は不要ですが、1科目6,000円の受講料が必要となります。詳細は学習センター窓口でご確認ください。

●卒業研究 (『学生生活の栞』学部：P 51～)

卒業研究は、全科履修生の選択科目です（必修ではありません）。履修するには、履修前年度に「卒業研究申請書」の審査により履修が認められることが必要です。なお、履修申請をするには原則として、申請年度の4月1日において全科履修生としての在学期間が2年以上であり、かつ62単位以上を修得していることが必要となります。

卒業研究履修の詳細については、6月上旬に各学習センター窓口で配付予定の『卒業研究履修の手引』をご覧ください。

●体育実技 (『学生生活の栞』学部：P 52～)

体育実技は、全科履修生の選択科目です（必修ではありません）。体育実技の科目登録後、各地で社会体育事業等として行われている各種の体育・スポーツ教室などに参加することにより、体育実技の単位（1単位）が認められます。通信指導・単位認定試験は実施されません。なお、体育実技の科目履修にかかる費用については、すべて本人負担となります。

身体に障がいや有する方の体育実技については、千葉学習センターをはじめ放送大学の主な学習センターにおいて、各学期3日程度（1日当たり4～5時間）、個々の特性に応じた体育実技授業を開設します。参加希望の方は、科目登録のうえ、事前に学習センター窓口にご相談ください。

体育実技履修の詳細については、『体育実技履修の手引』をご覧ください。放送大学ウェブサイトまたは学習センター窓口にてご覧いただけます。

また、システムWAKABAにも「体育実技履修の手引」及び「体育実技かんたんガイド」を掲載しています。

●質問について (『学生生活の栞』学部：P83～／大学院〈修士課程のみ〉P87～)

印刷教材や放送教材での学習を進めていく中で生じる様々な疑問を、自らの手で解消することでより深い学習効果が得られることとなりますが、自分で調べてもどうしても解消できない疑問が生じた場合には、次の方法で主任講師に質問し回答を受けることにより、それを実現することもできます。

●主任講師への質問方法

質問するには、①『学生生活の栞』巻末の質問票（学部：様式 14 / 大学院：様式 13）を用いて郵送する方法と②システム WAKABA 内に設けられている「質問箱」から行う方法の 2 つがあります。電話で質問することはできません。また、主任講師に直接メール等で質問することはできません。必ず質問票・質問箱を利用してください。

質問する際は、以下の注意事項をよく読んで送付してください。

- ア 質問の内容は、現在履修中の科目（再試験対象者含む）で修学上生じた授業内容に直接関わる学問的なことに限ります。履修外の科目や閉講科目についての質問、また、日常で生じた疑問点は対象になりません。
- イ 質問は、印刷教材等における該当箇所を明示し、関係部分を引用するなどできるだけ具体的に作成してください。（例：○章○ページ○行、○年度第○学期単位認定試験問題について、など）
- ウ 質問は、まずご自身で十分調べて、その中でどうしても理解できない内容を具体的に記載してください。
- エ 計算等が必要な質問は、必ず疑問点に至る過程を書いてください。

●質問に対する回答

質問への回答は、主任講師からの個別回答で行うこととしています。ただし、主任講師からの個別回答は、質問の妥当性・回答の必要性等について各主任講師が判断のうえ行いますので、回答できない場合があります。また、主任講師の都合や、諸事情により回答に時間のかかる場合がありますので、余裕を持って質問をしてください。

●質問票（郵送）の作成・提出上の注意

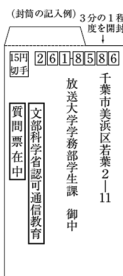
- ア 質問科目が複数にわたる場合は、用紙をコピーして科目ごとに作成してください。記入する際は、ボールペンを使用してください。パソコンを使用する場合は、所定様式で作成するか、質問部分を所定様式にあわせて作成し、貼付してください。なお、質問内容が確認できるように、コピーやメモをお手元に保管してください。
- イ 封筒は、ご自身で用意していただき、必ず大学本部学生課に送付してください。
（※学習センターまたは教員に直接送付した場合は、回答できません）
- ウ 第四種郵便物（通信教育用郵便物）を利用する場合は、以下の注意を守ってお送りください。郵便料金は 100 グラムまで 15 円です。（2024 年 1 月現在）（※料金の詳細については、郵便局ウェブサイトまたは直接郵便局で確認してください）

質問票を第四種郵便で送る際の注意

封筒左下側に、記入例のとおり「質問票在中」「文部科学省認可通信教育」とお書きください。

封筒上部を三分の一程度開封し、質問票の「文部科学省認可通信教育」の文字が開封部分から確認できるようにしてください。

質問票以外のものは同封しないでください。質問票以外のものを同封すると、第四種郵便は適用されません。



●各種様式

各種届出・申請のための様式及び証明書発行申請様式は、『学生生活の葉』の巻末、学習センター窓口横のカウンターに備えてあります。また、システムWAKABAには各種申請用紙がPDFで用意されていますので、そちらを印刷してご利用いただけます。

●注意事項

届出・申請の種類により、受付期間が決められていたり、学生種により提出先が異なっていますので、提出にあたっては、必ず『学生生活の葉』で事前によく確認をしてください。

氏名等の変更

在学期間中に氏名等の変更があった時は、速やかに『学生生活の葉』巻末の様式または、学習センター窓口横のカウンターに備えてある「氏名等変更届」に、戸籍または免許証など氏名等を変更したことが確認できる書類の写しを添えて、大学本部学生課入学・履修係へ提出してください。

また、あわせて学生証の再発行手続きも行ってください。

※修士全科生・博士全科生の提出先は大学本部教務課大学院企画・入試係となりますのでご注意ください。

住所等の変更

在学期間中に現住所または連絡先に変更があったときは、速やかに『学生生活の葉』巻末の様式または、学習センター窓口横のカウンターに備えてある「住所等変更届」を所属学習センターに提出してください。

※現住所に変更があった場合は、必ず最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。

職業等の変更

在学期間中に職業等に変更があったときは、速やかに『学生生活の葉』巻末の様式または、学習センター窓口横のカウンターに備えてある「職業等変更届」を大学本部学生課入学・履修係へ提出してください。

※修士全科生・博士全科生の提出先は大学本部教務課大学院研究指導係となりますのでご注意ください。

その他手続き

下表の届出・申請は、いずれも提出先が大学本部となっています。また、受付期間が設定されていますので『学生生活の葉』で事前によく確認をしてください。

なお、下表の届出・申請はいずれもシステムWAKABAから手続きが可能です。

種 類	『学生生活の葉』	提出先（修士全科生・博士全科生）
「所属コース・専攻変更願兼カリキュラム移行届」	学 部：P86	大学本部学生課入学・履修係
所属学習センター変更願	学 部：P87 大学院：P90	大学本部学生課入学・履修係 （〃 教務課大学院企画・入試係）
休学届／復学届／退学届	学 部：P90～94 大学院：P97～99	大学本部学生課入学・履修係 （〃 教務課大学院企画・入試係）

各種証明書の発行

在学中または卒業後に各種証明書が必要となった場合は『学生生活の葉』巻末、システム WAKABA のキャンパスライフ機能、学習センター窓口横のカウンターのいずれかで「諸証明書交付願」を入手し、必要事項を記入のうえ請求してください。発行手数料は1通につき200円です。

- 「在学証明書」「成績・単位修得証明書」「卒業／修了証明書」「卒業／修了見込証明書」「在学期間証明書」「履修証明書」は所属学習センター以外でも発行します。
- 教員免許状申請用または学芸員等の資格にかかる単位修得証明書、大学院受験のための調査書は所属学習センターでのみ発行します。これら特殊な証明書の発行には約2週間程度かかりますので、余裕をもって請求するようご注意ください。
- 郵送による申請方法については、『学生生活の葉』をご覧ください。

学割証の発行

全科履修生・修士全科生・博士全科生が、自宅から学習センター又は大学本館に通学する場合等に「学割証」の交付を受けると、J R ・私鉄・バスの乗車券等を割引料金で購入することができます。発行区間は、実際に利用する経路にかかわらず、目的地までの最短経路となります。また回数券の場合は、往復が同一経路である場合に限りです。

※乗車券の種類、割引率、購入方法等は会社により異なりますので、所属学習センターへお問い合わせください。

●申請方法

学習センター事務室窓口横のカウンターに備えてある所定の交付願（システム WAKABA のキャンパスライフ機能）に必要な事項を記入のうえ、学生証を添えてお申込みください。

千葉学習センターでは、郵送による申請は受け付けていないのでご注意ください。

学生教育研究災害傷害保険

学生のみなさんが教育研究活動中に被る事故に対する補償を目的とする、任意加入の保険制度です。全科履修生だけでなく、すべての学生種の方が加入することができます。万一の事故に備えてこの保険に加入することをお勧めします。

種 類	保険料	保険期間
学生教育研究災害保険	100 円	6 年間 (ただし、期間中連続して 在学中であること)
通学特約	プラス 40 円	
付帯賠償	プラス 340 円	1 年

●加入方法

加入を希望する方は、学習センター窓口へ学生証と保険料を添えてお申込みください。所属学習センター以外でも加入できます。なお、保険の効力は加入申込み翌日午前0時からとなります。面接授業やミニゼミ等の課外活動に際して加入する場合は、申込み翌日から適用のため実施日前日までに加入するようご注意ください。

- **Web サービス** (『学生生活の栞』学部：P 113～／大学院：P 113～)
放送大学では、学生のみなさんの修学をサポートするため、次のサービスを提供しています。

- ①システム WAKABA (特別聴講学生は一部機能使用不可)
- ②キャンパスメール (特別聴講学生は使用不可)

システム WAKABA

システム WAKABA は、学生がインターネットを介して利用できる本学の教務情報システムであり、学籍情報や単位の修得状況等を閲覧するための「①教務情報機能」、学生生活における各種お知らせや手続情報を取得するための「②キャンパスライフ機能」及び、放送授業等の履修科目の学修を支援するための「③授業サポート機能」を兼ね備えた、本学学生のためのポータル(入口) サイトとして機能します。

【主な機能：①教務情報機能】

※学生種によって利用できる機能は異なります。

- 学生カルテ (学籍情報、住所・連絡先情報、履修情報、単位修得状況情報、教材発送情報など)
- 変更・異動手続
- 履修成績照会
- 科目登録申請
- 所属コース変更及びカリキュラム移行のシミュレーション・手続
- シラバス参照

【主な機能：②キャンパスライフ機能】

- 学内連絡 (大学・学習センターからのお知らせ)
- スケジュール (放送・面接授業の予定、試験期間の予定 他)
- 学内 F A Q (本学に関する F A Q)
- 各種届出等申請様式 (手続関係等の様式取得 他)
- セミナーハウス予約

【主な機能：③授業サポート機能】

- 授業連絡 (履修する放送授業に関する主任講師からのお知らせ)
- 授業共有ファイル (履修する放送授業に関する主任講師からの補助教材等の提供)
- 質問箱 (履修中の放送授業等の内容に関し主任講師へ質問する機能)
- 資料室 (印刷教材の正誤表等、全学生が共通して授業関連の情報を得るための機能)
- 談話室 (一部の放送授業科目に関するコミュニケーション機能)
- 学内リンク (インターネット配信システム、オンライン授業システム、Web 通信指導システム、単位認定試験の問題・解答ページ等への各種リンク)

※モバイル端末からの利用について

システム WAKABA は、タブレット P C やスマートフォンなどのモバイル端末にも対応しております (ただし、一部機能には制限があります)。

キャンパスメール

「キャンパスメール」は、Web ブラウザを利用したメールシステムです。学生全員にメールアドレスが割り振られており、学外のパソコンからでも自由に利用することができます。

学生用無線 LAN (Wi-Fi) の利用申請について

放送大学学園では、全国の学習センターおよびサテライトスペースの一部の教室において、面接授業等でご利用いただける学生用無線 LAN サービス：WiFi-houdai を提供しています。

WiFi-houdai の利用には、事前にオンライン申請が必要です（※ 2024 年 10 月からオンライン申請になりました）。

詳細は、システム WAKABA -> [各種届出・申請様式] -> [無線 LAN 利用申請（オンライン）について] をご確認ください。

【注意事項】

- 認証用 ID・パスワードの有効期限は在学期間中のみです。再入学・継続入学いただいた場合は、再度申請が必要となります。
- 機器の接続設定は各自で行ってください。一部の学習センターを除き、ほかの学習センターでも同じ「SSID」「認証用 ID」および「パスワード」で接続できます。

学習センター所長

高 橋 浩 之 千葉学習センター所長／特任教授（専門：健康教育学）

客員教員等

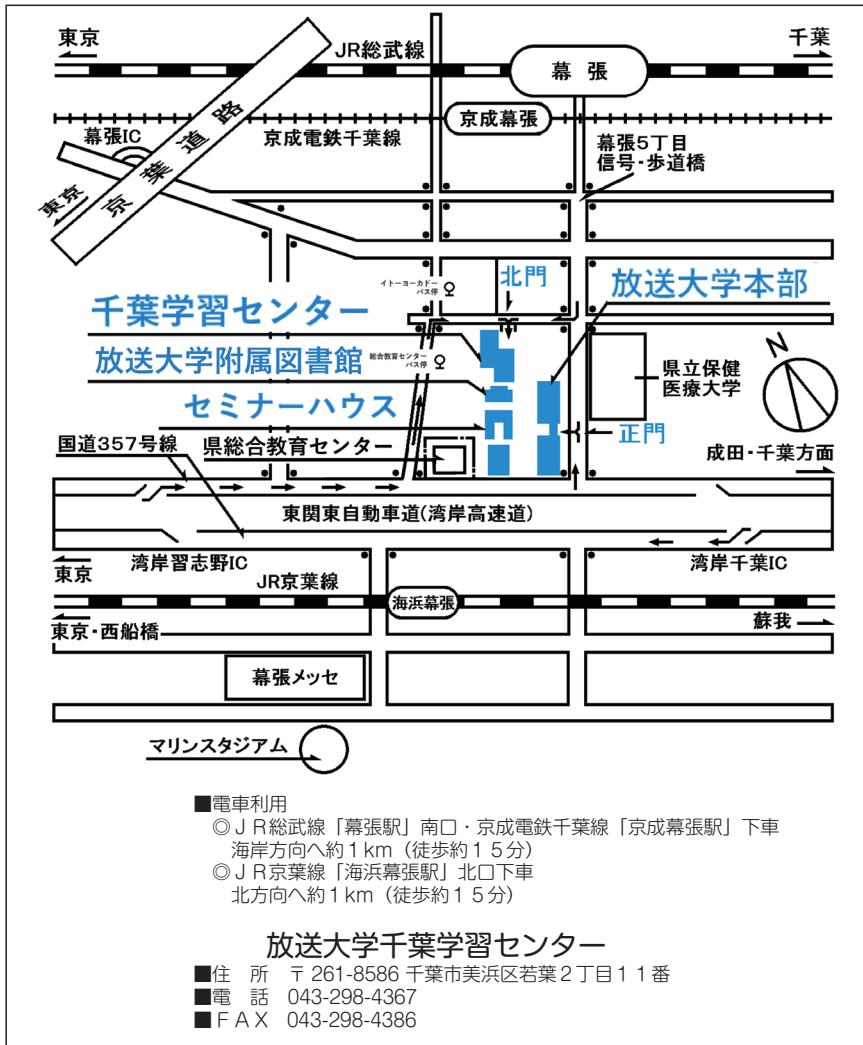
青 砥 清 一	客員教授	（専門：憲法・スペイン語教育）
伊 藤 誠	客員教授	（専門：音楽科教育・ヴァイオリン）
伊 藤 慎	客員教授	（専門：地球科学）
潤 間 励 子	客員教授	（専門：医学）
片 岡 洋 子	客員教授	（専門：教育学）
金 子 智栄子	客員教授	（専門：教育心理学・保育心理学）
柴 佳世乃	客員教授	（専門：中世文学）
八 馬 智	客員教授	（専門：工学デザイン）
御 巫 由 紀	客員教授	（専門：植物分類学）
三 野 弘 文	客員教授	（専門：物理学）
森 山 直 人	客員准教授	（専門：カウンセリング）
矢 口 貴 志	客員准教授	（専門：真菌学）

大学本部及び他の学習センター

センター等名	所在地	電話番号
放送大学本部	〒 261-8586 千葉市美浜区若葉 2-11	043-276-5111
茨城学習センター	〒 310-0056 水戸市文京 2-1-1 (茨城大学水戸キャンパス内)	029-228-0683
栃木学習センター	〒 321-0943 宇都宮市峰町 350 (宇都宮大学峰キャンパス内)	028-632-0572
群馬学習センター	〒 371-0032 前橋市若宮町 1-13-2	027-230-1085
埼玉学習センター	〒 330-0853 さいたま市大宮区錦町 682-2 (JACK 大宮ビル 8・9・10 階)	048-650-2611
東京渋谷学習センター	〒 150-0043 渋谷区道玄坂 1-10-7 (五島育英会ビル 1 階)	03-5428-3011
東京文京学習センター	〒 112-0012 文京区大塚 3-29-1 (筑波大学東京キャンパス文京校舎内)	03-5395-8688
東京足立学習センター	〒 120-0034 足立区千住 5-13-5 (学びピア 21 6 階)	03-5244-2760
東京多摩学習センター	〒 187-0045 小平市学園西町 1-29-1 (一橋大学小平国際キャンパス内)	042-349-3467
神奈川学習センター	〒 232-8510 横浜市南区大岡 2-31-1	045-710-1910
新潟学習センター	〒 951-8122 新潟市中央区旭町通 1 番町 754 (新潟大学旭町キャンパス内)	025-228-2651
山梨学習センター	〒 400-0016 甲府市武田 4-4-37 (山梨大学甲府キャンパス内)	055-251-2238
長野学習センター	〒 392-0004 諏訪市諏訪 1-6-1 (アーク諏訪 3 階)	0266-58-2332

(学習センターは、南関東・北関東ブロックのみ掲載)

千葉学習センター案内図



公式 SNS



X (旧 Twitter)
アカウント ID: @chibaSC_1983



Facebook (フェイスブック)

千葉学習センター





放送大学